

## 4 歳 児

### <子どもの保育目標>

様々な葛藤を経験しながら保育士や友達に認められることにより自信をもって行動する。

### <養護> 生命の保持

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。</li> <li>・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。</li> <li>・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士は子どもの疾病についての理解を深める。</li> <li>・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。</li> <li>・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。</li> <li>・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。</li> <li>・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。</li> <li>・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。</li> <li>・生活リズムに合わせ適度な休息をとることができるようにする。</li> <li>・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。</li> <li>・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。</li> </ul>

## <養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。</li> <li>・優しいまなざしや態度で関わる。</li> <li>・温かなやり取りやスキンシップを心がける。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。</li> <li>・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。</li> <li>・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの中盤となる基本的な信頼感を培う。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。</li> <li>・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。</li> <li>・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。</li> <li>・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し柔軟に対応する。</li> </ul>




## 4歳児 <教育> 健康

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に関心をもつ。</li> <li>様々な動きを組み合わせる積極的に遊ぶ。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 友達と一緒に様々な食べ物を食べる楽しさを味わう。</p>	<p><b>【食べることって楽しい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に食事を楽しみながら、少しずつ自分でマナーを意識できるようにしていく。</li> <li>食事の時間や正しいマナーについて知らせる。 (食器の並べ方・扱い方・良い姿勢で食べる)</li> <li>子どもが食に関わる活動を取り入れ、食への興味や関心を深める。</li> <li>箸の使用については、一人一人の手や指の機能の発達を見極め、正しい持ち方を知らせる。</li> <li>行事食などを通して季節や文化を伝えていく。</li> </ul> <div data-bbox="778 974 1220 1288" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="869 1294 1120 1361" data-label="Caption"> <p>食材に触れる</p> </div> <div data-bbox="595 1384 976 1863" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1077 1384 1380 1809" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1050 1814 1428 1881" data-label="Caption"> <p>楽しみながら身に付ける</p> </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 適切な休息をとる。</p> <p>○ 排泄の後始末をしようとする。</p>	<p><b>【体を休めることって大切】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休息の意味を知らせ、自ら体を休めることができるようにする。</li> <li>・ 長時間の保育に配慮して室内環境を工夫し、くつろげる場所を用意する。</li> </ul> <div data-bbox="727 600 1248 875" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="719 922 1254 992" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>ゆったりとくつろげるスペース</p> </div> <p><b>【自分のことは自分でやるよ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で後始末ができるように、尿、便の拭き方を知らせていく。</li> <li>・ 排泄の後始末やトイレのマナー、立ち便器の使い方など場面を捉えて知らせ見守りながら身に付くようにする。</li> </ul> <div data-bbox="844 1323 1145 1608" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="727 1648 1254 1718" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>ペーパーのたたみ方、切り方を知らせる</p> </div>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 衣服の前後、左右、裏表が分かり着脱をする。</p> <p>○ 体の異常について自分から訴える。</p> <p>○ 様々な動きを組み合わせ、積極的に遊ぶ。</p>	<p><b>【自分で気付いたよ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服には、前後、左右、表裏があることを意識して、手順良く正しい着方ができているか見届ける。</li> <li>・ 友達が行う姿を見たり一緒に行ったりする中で、自分から意欲的に取り組めるよう見守り励ましていく。</li> </ul>  <p><b>【いつもと違う自分に気付く】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体計測や健康診断、健康教育などの機会を通して、自分の体に関心をもてるようにする。</li> <li>・ いつもと違う自分の体調に気づき、大人に伝えられるように日頃から話していく。</li> <li>・ 一人一人の健康な体の状態を把握し、小さな変化を見逃さず丁寧な対応をする。</li> </ul>  <p>歯科衛生士による 歯磨き指導</p> <p><b>【全身使って遊ぶの、大好き】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に遊びたくなる環境を整え、体を動かすことの楽しさや気持ちよさを感じられるように保育士も一緒に遊ぶ。</li> <li>・ 遊びの中で子どもが多様な動きを経験できるように工夫する。</li> </ul>  <p>いろいろな遊びの中で十分に体を動かす</p>

## <教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自分の体験から危険なことや場所が分かる。</p> <p>※ 災害時の対応</p>	<p><b>【安全に楽しく遊ぼう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実力以上のこともやりたがるので、怪我に繋がらないようにルールを知らせ、守って遊ぶようにする。</li> <li>・ 危険な遊び方や場所に気付かせ、安全に遊ぶようにする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察官による交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら子どもの安全確保をすると共に、安心できるような表情や声かけ、スキンシップを心がける。</li> <li>・ 子どもにダンゴ虫のポーズをとることや、笛の合図で集まることなど、自分の身を守る方法を知らせていく。</li> <li>・ 避難訓練や起震車体験などを通して、自分の身を守ることの大切さを知らせる。</li> <li>・ 子どもに状況を知らせ、職員の指示に従うように伝える。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p><b>地震体験</b></p> </div>



## 4歳児 <教育> 人間関係

<ねらい> ・ 友達との繋がりを広げ、集団で生活することを楽しむ。	
内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 友達との繋がりを広げ集団で生活することを楽しむ。	<p><b>【友達と一緒に楽しい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は一人一人の良さを十分に認め、子ども達に伝えながら周りの子にも関心が向くようにし、友達との繋がりを広げていく。</li> <li>・ 必要に応じて保育士が仲立ちとなり、友達との接し方や関わり方を知らせていく。</li> <li>・ 集団遊びやルールのある遊びなどは、保育士がモデルを示し、次第に子ども同士で工夫したり協力したりできるようにしていく。</li> </ul> <div data-bbox="842 819 1152 1106" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="683 1128 1310 1193" data-label="Caption"> <p>必要に応じて仲立ちをしながら、遊びを見守る</p> </div> <p><b>【きまりを守って仲間づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラス全体の活動を通して、ルールを守って皆で遊ぶことが楽しいと思える経験を積み重ねていく。</li> <li>・ 子ども同士でルールを作ったり変えたりする姿を見守り、必要に応じて手助けする。</li> <li>・ 良いこと悪いことを自分で考え、行動できるように援助していく。</li> </ul> <div data-bbox="699 1570 1254 1899" data-label="Image"> </div>
○ 友達と生活する中できまりの大切さに気付き守ろうとする。	(This section is merged into the previous row's content for better readability and to match the image placement.)

## <教育> 人間関係

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自分のやりたいと思うこと、して欲しいことをはっきりと言い、友達の考えも聞くことができる。</p> <p>○ 異年齢の子どもに関心をもち、関わりを広める。</p>	<p><b>【△△だけど〇〇する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達との関わりの中で、葛藤を繰り返しながら自分をコントロールできるように保育士はタイミングを見て仲立ちをしていく。</li> <li>・ すねたりごねたりすることを否定せず、どうしたらよいか考える機会と捉え、子ども自身が気持ちを立て直せるように援助していく。</li> <li>・ 保育士の言動は友達と関わる際のモデルとなるので、良い手本となるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="715 712 1262 1037" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="724 1059 1256 1126" style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>子ども同士で話し合う場面をつくる</p> </div> <p><b>【きょうだい いっぱい楽しいな】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意図的に一緒に遊ぶ機会をつくり、異年齢の友達に関心をもち、関わる楽しさを感じられるようにしていく。</li> <li>・ 異年齢児に親しみをもち、年下の子を思いやったり、年長児に憧れたりできる環境を整える。</li> </ul> <div data-bbox="719 1442 1235 1783" style="text-align: center;">  </div>



## 4歳児 <教育> 環境

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の事象に関心をもつ。</li> </ul>	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 身近な事物、自然事象に触れ、興味や関心が広がる。</p> <p>○ 身近な動植物に親しみ、関心や愛情をもつ。</p> <p>○ 身の回りの人々の生活に親しみ身近な社会に関心をもつ。</p>	<p><b>【何だろう？やってみよう！】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然に触れる機会を多くし、子どもの発見や驚きを見逃さないようにし、不思議に思ったことを繰り返し試せるよう援助する。</li> <li>自然事象（水・砂・土・雨・雪・氷・風・光・影・雲など）に触れながら季節ごとの自然の変化や移り変わりに気付けるように援助していく。</li> </ul> <div data-bbox="662 741 1066 1057" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1115 705 1406 1084" data-label="Image"> </div> <p><b>【みんな、みんな生きている】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動植物に親しみ、保育士と共に世話をしながら興味や関心を深め、自ら関わっていくようにする。</li> <li>成長や変化に気付いたり感動したりしながら、生命を大切にする気持ちを育てる。</li> </ul> <div data-bbox="849 1330 1257 1644" data-label="Image"> </div> <p><b>【身近な社会を知ろう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の利用や地域の行事に参加する機会をつくるなど、地域の人との関わりを通し、自分達の住む地域に親しみを感じられるようにする。</li> </ul>

## <教育> 環境


内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 自分の物、共同の物の区別に気付き大切にしようとする。</p> <p>○ 身近な環境に興味をもち自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形、色などに関心をもつ。</p> <p>○ 身近な社会の文化や伝統、異なる文化に触れ親しむ。</p>	<p><b>【遊具や用具を大切にしよう！】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士が遊具や用具を大切に扱っている様子を示し、物に愛着を抱くことができるように援助する。</li> <li>・ 友達と一緒に作る楽しさを経験できるようにし、遊びを通して共同で使う道具や遊具を大切にすることを育てる。</li> </ul> <p><b>【考えてみよう！試してみよう！】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な物や遊具に興味をもって関わり、考えたり試したりできるような環境を構成し、いろいろな物に自ら関わる機会をつくるようにする。</li> <li>・ 日常生活の中で、数・量・形に関心を持ち生活の中で使って遊べるような環境を整える。</li> </ul> <p><b>【身近な文化や伝統に親しむ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わらべうたや昔話などを通して、季節や文化を取り入れた遊びを楽しんだり行事を体験したりすることで、伝統的な文化に触れる機会がもてるようにする。</li> <li>・ 様々な国や地域の遊びをしたり食に触れたりすることで、異なる文化があることに気付き、親しみがもてるようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center;">   </div>

## 4歳児 <教育> 言葉

<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経験したことや思ったこと、感じたことを言葉で伝え合う楽しさを味わう。</li> </ul>	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問いかけに対して、自分なりの言葉で返事をしたり疑問に思ったことを尋ねたりする。</li> <li>○ 絵本や物語などに親しみ、想像して楽しむ。</li> </ul>	<p><b>【分かりやすい言葉で】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して話したり聞いたりできるように、子どもの言葉に頷き応答していく。</li> <li>・ 一人一人が理解できるよう、分かりやすい言葉で具体的に伝えていく。</li> </ul> <p><b>【ファンタジーの世界】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本や物語などの読み聞かせを通して自由にイメージを膨らませ、子どもなりの感じ方を楽しめるようにする。</li> <li>・ 落ち着いた雰囲気をつくり、一人一人が絵本や物語の世界に浸ることができるようにする。</li> <li>・ 日常会話や絵本、物語、詩などを聞く中で、様々な言葉の響きやリズム、面白さに気付けるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経験したことや思ったこと、感じたことを言葉で伝え合う楽しさを味わう。</li> </ul>	<p><b>【伝える力と伝わる喜び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの思いや考えをよく聞き、状況に応じて保育士が仲立ちとなり互いの話が伝わるようにする。</li> <li>・ 保育園や家庭などで経験したことを保育士や友達の前で話す機会をつくり、伝わる喜びを感じられるようにする。</li> </ul>



## 4歳児 <教育> 表現

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。</li> </ul>	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な事物などに関心をもち、それらの面白さ、不思議さ、美しさに気付く。</li>   <li>○ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</li>   <li>○ 友達と一緒に音楽を聞いたり歌ったりリズムに合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らして楽しむ。</li>   <li>○ 素材や用具を自由に選び、のびのびと表現する。</li> </ul>	<p><b>【本物に触れる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水・砂・土・草花・昆虫などに実際に触れる機会をもち、想像の世界を広げられるようにする。</li> <li>・ 保育士は子どもの気付きや発見など、心を動かされている出来事に共感し、子どもが自由な表現ができるようにする。</li> </ul> <p><b>【一人一人を大切に】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが表現しようとする姿を温かく見守り、発想や工夫したところを認め共感していく。</li> <li>・ 友達と同じイメージをもって表現遊びが楽しめるよう、仲立ちとなったり援助したりしていく。</li> </ul> <p><b>【みんなで楽しく】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士が歌を歌ったり楽器の演奏を楽しんだりしている姿を見せ、音楽に親しみをもてるようにする。</li> <li>・ 正しい発声や音程で歌うことや楽器を正しく上手に演奏することに捉われず、友達と一緒に歌ったり鳴らしたりすることを存分に楽しめるようにする。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p><b>【工夫と創造の始まり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが表現しようとする気持ちを大切にし、イメージを膨らませ自由に作ることができる環境を整える。</li> <li>・ 子どもなりの表現を受け止め、表現する喜びを十分に味わえるように働きかけ意欲に繋げていく。</li> </ul>